



静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

この人に聞く！

永野 ^{かい}海さん（弁護士）

新型コロナウイルス感染症

～いま、本当に困っている人に伝えたいこと～

弁護士、そして防災士としても活動している永野海さん。新型コロナウイルス感染症が拡大した折りには、支援制度を分かりやすくまとめた「新型コロナ対策支援カード」を作成、国会でも取り上げられました。支援制度について、そして、コロナ禍で起きている人権問題について、永野さんに話を聞きました。



新型コロナ対策支援カード 支援制度をわかりやすく知る

新型コロナウイルス感染症の支援制度はたくさんあります。国のホームページにも多くの情報が掲載されています。支援制度の内容を読み取ることはとても難しいです。しかし、支援制度を知っている人と知らない人で大きく差が出ます。まずは支援制度を分かりやすく知ってもらうことがスタートです。

非正規雇用で働く人、外国人 社会的に弱い立場にある人へのフォロー

雇用に関する支援制度に「雇用調整助成金」があります。しかし、この制度は残念ながら十分には機能していません。本来この助成金をもらうべき企業が申請をしていないんです。そのため「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」というものがつくられました。解雇はされていないけれど事実上会社が休業しており、給料がもらえない人のための措置です。この制度は従業員が自分で申請できます。

外国人に対する支援制度は極めて貧弱です。現在、支援制度に関する外国人からの相談が増えています。しかし、日本語が堪能でない外国人は、口コミで情報を得ているのがほとんどです。国のホームページ上では、多言語でいくつかの支援制度を紹介しています。でも、概要だけで終わっているんです。実際の手続きについては多言語化されていません。これは、この国がいかにマイノリティを平等に扱おうという気持ちがないかがすごく象徴されています。

次ページへ続く

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085 e-mail : info@azarea-navi.jp

URL : <https://www.azarea-navi.jp/>

編集・発行：あざれあ交流会議グループ

人権問題への配慮

感染者やその家族に対して深刻な誹謗中傷が起きています。家の窓ガラスを割られた人、引っ越しを余儀なくされた人もいます。もし身近な人が感染したら、まずはその人のことを心配しましょう。例えば、インフルエンザに罹った人に対しては心配しますよね。しかし、新型コロナウイルス感染症は、心配より先に「恐怖」や「嫌悪」を抱いてしまいます。人間、分からないものに接するといかにパニックになってしまうかが見受けられます。

そもそも、ある意味では、感染してもその後退院できた人は、むしろ無症状だけれども感染しているかもしれない周りの人（自分を含む）に比べれば安心な存在とも言えます。関東大震災が起こった時、社会がパニックになる中で、デマが飛び交い、信じられないことですが、民間人の手によって、多くの罪なき人が殺されてしまいました。コロナ禍で起きていることも、ある種においてこの事件と非常に似ているところがあります。人間は非常事態が起こってパニックになると人を傷つけるということを、ひとりひとりが肝に銘じないといけません。パニックにならずに正しく対応できるように、自分が感染者になる可能性があることを常に考えながら、病気の人は心配するものなんだ、コロナ感染者もそういう対象なんだ、ということを忘れずにいてください。

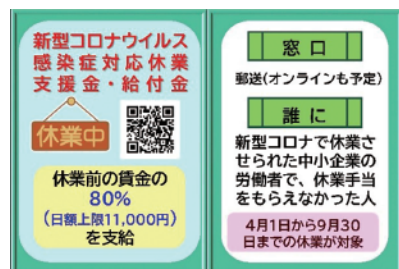
新型コロナウイルス感染者の情報は、感染拡大防止につながる場合には、必要最小限出さざるを得ない場合もありますが、その効果がない場合には、個人を特定してしまうような情報は出してはいけません。感染症法でも、個人情報の保護が必要であることが書かれています。新型コロナウイルス感染症の情報公開では、なんとエボラ出血熱のような一類感染症の指針が準用されています。この一類感染症の指針ですら、氏名、職業、居住市区町村などは非公表で、個人の特定がされないように配慮するとされています。例外的に、立ち寄った場所などを公表する可能性があるのは、濃厚接触者がどうしても特定できない場合で、その公表によって感染の拡大が防止できる場合です。濃厚接触者が特定できていれば、市民に公表する必要はないわけです。特に地方などでまだ感染者が珍しい時期には、誰が感染したのかと、漠然とした不安と興味本位などで、市民が感染者探しに走る傾向があります。過度な情報公開を求めがちにもなります。しかし、そこでぜひ一歩立ち止まり「この情報は本当に必要か?」「自分が感染者だったらどうだろう?」と自分の頭で冷静に考えてみてください。明日は我が身です。事業所などでも、感染者が出た場合は、プライバシー権、平穩な生活を送る権利などの人権に配慮しながら、どこまでの情報をどういう目的で公開をするかを、ぜひ感染者が出てパニックになる前の段階で、話し合ってみてください。

支援の話に戻ると、新型コロナウイルス感染症は、困っている人へのアウトリーチの支援がとても難しいです。だから、いま困っている人は、まずは声をあげてください。ひとりで抱え込むと必要な支援を得ることが難しくなります。苦しい時こそ、勇気を出して声をあげてください。

新型コロナ支援カードほか、新型コロナウイルス感染症関連情報は、WEBサイト「あざれあナビ」で掲載しています。



あざれあナビ



新型コロナ対策支援カードの一例（個人・家族向け、事業者向けあり）。永野さんのホームページでは多言語化されたカードも掲載。

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときは、あざれあへ

女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。



0558-23-7879 賀茂 / 055-925-7879 東部
054-272-7879 中部 / 053-456-7879 西部

月・火・木・金 9:00 ~ 16:00
水曜日 14:00 ~ 20:00
第2土曜日 13:00 ~ 18:00

※いずれも、祝日・休館日を除く
※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

DV その他暴力に関する相談 (予約制面接相談)

月・木 10:00 ~ 15:00
水 14:00 ~ 19:00

まずは電話相談におかけください。

男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。



専用電話 054-272-7880 毎月第1・3土曜日 13:00 ~ 17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次週の土曜日に実施します。

子どもも大人も ～自己肯定感を高め、自分で発信する力を身につける～

今年で創立 71 周年を迎えた（一社）ガールスカウト静岡県連盟。年長の子どもから 95 歳の方まで約 970 人が所属している。連盟長の山口協子さんは、7 歳からガールスカウトで活動が続けている。「私はガールスカウトに育てていただいた。その恩返しも含めて活動をしています」一方で、副連盟長の山本尚美さんは自身の子どもと共に入団した。

「ガールスカウトは年長の子ども以上の年齢であれば、誰でも入ることができます。お母さんリーダーを育成する講習もあるんですよ」子どもが退団したあとも残って活動が続けるお母さんは多いという。

ガールスカウトというと、募金やキャンプ活動、工作のワークショップなどを行う姿を目にする機会が多い。「ガールスカウトは募金やキャンプ等の活動をとおりコミュニケーションをとり、いろいろなものを共有しながら、自己肯定感を養います。自己肯定感が高くなると、皆とても前向きになる。これが重要なんです」と山口さんは語る。

現在、ガールスカウトが力を入れて取り組んでいるのは、「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つ、「5. ジェンダーの平等」に関する教育だ。中高生の会員を対象に、デートDVの研修や「警察官は男性の仕事？ 女性の仕事？」といった男女の役割を問うゲームなど、参加型で学ぶジェンダー教育を行っている。「少女が容姿や性別に対する固定概念に気づき、自己肯定感を高めるためにも、子どもの頃からのジェンダー教育は本当に重要なんです」昨年は高校生の会員が、女子中高生のジェンダーバイアスに関するアンケート調査を実施し、報告会も開かれた。「“自分で考え、行動し、自分の声で発信すること”をガールスカウトでは大事にしています。ジェンダー教育をとおり、中高生の会員からは、自己肯定感が高まり、よりやる気を出して活動に取り組む姿が見られました」

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年はリモート活動が余儀なくされている。そんな中でも、ガールスカウトでは皆でオンラインを学び、SNSから積極的に発信を行うなど前向きに活動している。近く、オンライン動画の企画を立て、撮影を行うという。

山口さん、山本さん曰く、目下の悩みは少女会員が減少していること。「ガールスカウトは子どもも大人も成長できる場です。興味のある方は是非ガールスカウトにご参加ください」



連盟長の山口協子さん（左）と副連盟長の山本尚美さん（右）。
このご時世、敢えてのマスク姿で。

ブックサポーター 48

新しい本からピックアップ！

『スゴ母列伝：いい母は天国に行ける』

ワルい母はどこへでも行ける』

（堀越英美 大和書房 2020 年）

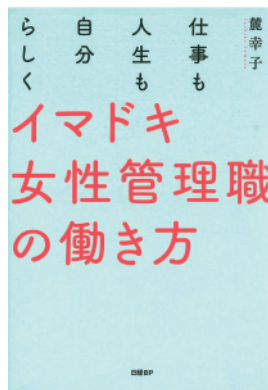


岡本かの子（岡本太郎の母）、マリー・キュリー、青山千世（山川菊栄の母）など自分を貫いて独特な育児をする「スゴ母」たちのエピソードを紹介。育児の参考にはならなくても、自分を手放さない彼女たちの姿は、正しい母親像なんてないことを教えてくれます。

『イマドキ女性管理職の働き方：』

仕事も人生も自分らしく』

（麓幸子 日経 BP 2020 年）



新入社員を対象としたある調査によると、女性の約 4 割が管理職になりたくないと思っているそうです。本書では、管理職へのネガティブなイメージの分析や管理職としてやっておくこと、悩みを解決するヒントなどを提案。女性がチャンスを掴めるように応援しています。



あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書 5 冊、ビデオ・DVD 2 本（2 週間）
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
休室日：第 1・3・5 日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759

静岡県男女共同参画団体 募集！

静岡県男女共同参画課では、男女共同参画を推進する団体の活動を支援するため、あざれあ利用の優遇措置（会議室等の利用料半額・団体交流室の無料利用）や情報発信・団体同士の交流機会の提供などを行っています。

皆様の団体の活動場所としての利用や活動のPR、ネットワーク作りなどにお役立てください！

登録を希望される場合は、県ホームページから登録申込書をダウンロードし、必要書類を添えて静岡県男女共同参画課へ御提出ください。

★詳細はこちら

https://www.azarea-navi.jp/cyottoe/szok_dantai/

ふじのくに女性活躍応援会議団体 募集！

県内の産業界における女性活躍を、より一層加速化させるための官民一体のネットワーク（組織）である「ふじのくに女性活躍応援会議」参加企業等を募集しています。

女性活躍の推進に取り組む企業、団体、個人等が構成員となり、女性活躍に関する情報交換や情報発信を行うとともに、県との共催で事業を行うなど、連携・協働して県内の女性活躍の推進に取り組んでいます。

参加を希望される場合は、県ホームページから参加申込書をダウンロードし、静岡県男女共同参画課へ御提出ください。

★詳細はこちら

https://www.azarea-navi.jp/cyottoe/fujinokuni_oen/

【問合せ】静岡県くらし・環境部県民生活局男女共同参画課
TEL：054-221-3363

10/24日（土）開催！ あざれあメッセ2020 活動紹介（WEB サイト＋パネル掲示） 募集！

「あざれあメッセ」は「男女共同参画」について楽しみながら知ってもらう、年に一度のイベントです。これまではあざれあ全館を使用して多くの方に出演していただいていたのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、下記のとおり実施いたします。

① WEB サイト「あざれあナビ」に、皆様が日頃行われている活動内容（男女共同参画、ジェンダー、人権等）を掲載！（期間：10/24 から原則無期限）

② 拡大印刷した①をあざれあ館内に展示！（期間：10/24 ～ 1 カ月程度）

※詳細は WEB サイト「あざれあナビ」をご覧ください。

★募集対象

「男女共同参画」「ジェンダー」「人権」等に関する活動をしている団体又は個人（募集数 20 程度）

★申込方法

申込書を記載の上、メール・申込みフォーム・郵送・持参のいずれかで提出してください。（申込書は「あざれあナビ」でダウンロードしてください）

★申込み・問合せ

NPO 法人あざれあ交流会議 事業課（平日 9:00 ～ 18:00）

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL：054-250-8147 / FAX：054-251-5085 / メール：azareamesse@gmail.com

※迷惑メール設定をされている方は、受信できるよう設定をお願いします。



申込みフォーム



あざれあナビ